福岡県の複合商業施設内の飲食店における チャオビゴキブリの定着

木村 悟朗* 井上 剛 谷川 力

イカリ消毒株式会社（〒160-0022 東京都新宿区新宿 4-3-25）

（受領：2015年10月14日；登載決定：2015年12月24日）

Colonization of *Supella longipalpa* (Fabricius) in a restaurant of a shopping plaza in Fukuoka Prefecture, Japan

Goro KIMURA*, Tsuyoshi INOUE and Tsutomu TANIKAWA

* Corresponding author: g-kimura@ikari.co.jp

IKARI Corporation, 4-3-25, Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo 160-0022, Japan

(Received: 14 October 2015; Accepted: 24 December 2015)

Abstract: We collected one each of female and nymph specimens of *Supella longipalpa* (Fabricius, 1798) with a vacuum cleaner from a restaurant located in a shopping plaza in Fukuoka Prefecture, Japan, on October 6, 2015. In addition, we observed a few adults, larvae, and oothecae in a kitchen of the restaurant on the same day. This is the first record of this species on Kyushu Island.

Key words: colonization, first record, Fukuoka Prefecture, kitchen, dining hall, *Supella longipalpa*

緒 言

チャオビゴキブリ *Supella longipalpa* (Fabricius, 1798) は、全世界に分布する屋内害虫である（緒方ら, 1989; 朝比奈, 1991; 三原, 1991）。わが国における本種の採集記録は、近年まで小笠原父島のみであり、父島以外の小笠原諸島でも捕獲されていない（Komatsu et al., 2013）。ところが、最近、東京都江戸川区で本種が生息したことが報告され（小松・内田, 2011）、本土への侵入が明らかとなった。その後の採集記録はなく、国内の分布状況は十分に検討されていない。世界的な害虫であるにもかかわらず、国内で分布が拡大しなかった理由は不明である（朝比奈, 1991）。

本種の生息場所や行動はチャバネゴキブリ *Blattella germanica* Linnaeus, 1767によく似ているが、その行動範囲は厨房に限局されず、建物全域を歩きまわる（緒方ら, 1989）。小笠原父島において、本種は民家、宿舎、および事務所、ビルのボイラー室、および飲食店の厨房で（高橋, 1973; 朝比奈, 1991, Komatsu et al., 2013）、東京都江戸川区では、集合住宅の1室で捕獲されている（小松・内田, 2011）。一方で、チャバネゴキブリが多数生息するようなビルや飲食店等における採集記録は少ない。国外においてもチャバネゴキブリと異なり、寝室、タンス、家具、家電などの加温された室内に散見されている（Cornwell, 1968）。しかし今回、我々は福岡県の複合商業施設内の飲食店において本種の定着を確認し、その防除を試みたので報告する。

発生状況と経過

今回の調査場所である複合商業施設内の飲食店より2015年6月5日にゴキブリ生息の報告を受け直ちに現場調査を

行ったところ、他の店舗で生息が確認されているチャバネゴキブリやクロゴキブリ *Periplaneta fuliginosa* Serville, 1838とは異なる種の生息を確認した。目視調査で確認した形態的特徴から、発生種はチャオビゴキブリと考えられた。この店舗では2011年から定期調査を継続しており、過去の調査において本種の生息は確認されていなかった。6月12日、6月19日、7月17日および7月29日に、ベイト剤（食毒剤）（製品名：マックスフォース®ジェルK、有効成分名と含有量：ヒドラメチルノン、2.15%；バイエルクロップサイエンス株式会社）とマイクロカプセル（MC）剤（製品名：サフロチン®MC、有効成分名と含有量：プロペタンホス、20%；日本化薬株式会社）を用いて厨房内の防除を行ったが、この期間中も粘着トラップ（ゴキブリインジケーター小型、粘着面=120mm×60mm、イカリ消毒株式会社）に本種の捕獲はなかった。防除後に、飲食店の従業員へのヒアリング調査を実施したところ、厨房内の本種の目撃はなくなった。しかし、7月29日の目視調査では客席内に本種幼虫の生息が認められたため、7月29日と8月13日に同じ薬剤（2種）を用いて客席内を処理した。8月16日の目視調査では厨房内と客席内のいずれにも本種の生息は認められず、ヒアリング調査においても目撃情報はなかった。この間も、粘着トラップに虫体は捕獲されなかった。その後、9月16日の定期調査でも本種の生息は認められなかったが、10月6日に再び厨房内で従業員による本種の目撃があり、吸引器（充電式クリーナー CL140FD、株式会社マキタ）による物理的防除とこれまでと同じ薬剤を用いた化学的防除を併用した。その日の吸引器による防除で、下記標本の雌1個体と幼虫1個体を採集し、目視調査において幼虫、成虫、および卵鞘を確認した（Fig. 1）。

Fig. 1. Two oothecae observed in a kitchen of a restaurant.

チャオビゴキブリ *Supella longipalpa* (Fabricius, 1798) (Fig. 2)

標本 1♀ 1幼虫, 福岡県福岡市, 2015年10月6日, 採集者: 井上 剛, ♀ 体長: 11mm, 幼虫体長: 5mm. 標本は吸引器で採集した. 吸引器で採集したこと, 採集後の保管状況が悪かったため, 標本は触角や脚が欠損している. 標本は, 著者の一人である木村悟朗が保管している

標本の個体は朝比奈 (1991) の特徴に基づいて, チャオビゴキブリと同定した. 本種が小笠原父島から記録された当時, 和名はキフトスジゴキブリとされたが (高橋, 1973), 現在の和名は英名の Brown-banded cockroach に由来している (朝比奈, 1991).

考 察

本報告は, 九州におけるチャオビゴキブリの初記録である. 2015年6月5日から10月6日までの調査期間中, 本種は目視で確認されているにもかかわらず, モニタリングと物理的防除を兼ねた粘着トラップでは, 捕獲されなかった. しかしながら, 本種は目視調査で確認されていた. 今回の防除に使用した吸引器は, 本種が俊敏であるために捕殺効率が低く, 防除としては効果的ではなかった. 三原 (1991) も本種の行動が敏捷であることを報じている. 本種はチャバネゴキブリのように容易に吸引することが困難である. 本種は従来の生息地である小笠原父島のみではなく, 東京都江戸川区でも採集されており (小松・内田, 2011), 国内の分布拡大が危惧される. 今後は, 本種の防除のための, 効果的なモニタリング手法と効率的な捕殺について検討する必要がある.

本種が捕獲されている福岡県福岡市に位置するこの複合商業施設には多数の飲食店が入っているが, 本報告の店舗を除きチャオビゴキブリの生息は認められていない. また, 本報告の店舗では, 本調査期間中に本種以外のゴキブリ類は捕獲されておらず, 確認された卵鞘も形態的特徴 (Cornwell, 1968) から本種のものと考えられ, 本種のみが定着している

Fig. 2. Dorsal view of nymph (left) and adult (right) *Supella longipalpa* collected with a vacuum cleaner.

ことが明らかとなった.

チャオビゴキブリ幼虫はチャバネゴキブリ幼虫よりも乾燥状態に適応し (Melton, 1995), 飲食店や厨房よりも一般住宅に多い (Rentz, 2014) とされているにもかかわらず, 本種が複合商業施設の飲食店で捕獲されたことは非常に興味深い. 当該の店舗はチャオビゴキブリが生息可能な環境条件を提供していると予想される.

摘 要

チャオビゴキブリが2015年10月6日に福岡県内の複合商業施設の飲食店で捕獲された. この飲食店では成虫, 幼虫, および卵鞘が確認された. 本報告は福岡県における本種の初記録である.

文 献

- 朝比奈正二郎. 1991. 日本産ゴキブリ類. 253 pp., 中山書店, 東京.
- Cornwell, P. B. 1968. The Cockroach. Volume 1. 391 pp., Hutchinson, London.
- 小松謙之, 内田明彦. 2011. チャオビゴキブリ *Supella longipalpa* の発生事例. 第27回日本ペストロジ学会千葉大会 (日本ペストロジ学会千葉大会), p 45. 日本ペストロジ学会千葉大会, 千葉.
- Komatsu, N., Kishimoto, T., Uchida, A. and Ooi, H. K. 2013. Cockroach fauna in the Ogasawara Chain Islands of Japan and analysis of their habitats. *Trop. Biomed.*, 30: 141-151.
- Melton, R. H. 1995. Differential adaptation to water deprivation in first-instar nymphs of the German cockroach (*Blattella germanica*) and the brown-banded cockroach (*Supella longipalpa*). *Entomol. Exp. Appl.*, 77: 61-68.
- 三原 實. 1991. 話題のゴキブリたち. ゴキブリのはなし (安富和男編), pp. 72-79. 技報堂出版, 東京.
- 緒方一喜, 田中生男, 安富和男. 1989. ゴキブリと駆除. 197 pp., 日本環境衛生センター, 神奈川.
- Rentz, D. 2014. Guide to the cockroaches of Australia. 328 pp., CSIRO, Collingwood.
- 高橋純雄. 1973. 小笠原諸島の衛生害虫とくにカおよびゴキブリ類について衛生動物. 24: 143-148.